

議事概要

○委員会名	令和5年度第1回 JCHO 湯河原病院地域連絡協議会
○開催日時	令和5年12月21日(木) 11:00~12:00
○開催場所	湯河原防災コミュニティーセンター 206会議室
○委員(外部)	<ul style="list-style-type: none"> ・小田原医師会 湯河原班 班長 荒井千明 ・湯河原町消防署 署長 岩本晃 ・湯河原町保健センター 所長 松野善一 ・湯河原町介護課 課長 大野真伸 ・患者代表 秋山孝子
○委員(病院)	<ul style="list-style-type: none"> ・院長 高取吉雄(委員長) ・内科部長 岩田哲史 ・看護部長 先崎晴美 ・事務長 井澤裕匡 ・地域医療連携室長 松坂菜美子 ・主任医療社会事業専門員 工藤敦子 (事務局) <p>鈴木副看護部長、薄田事務長補佐(総務)、加藤総務係長、 今井地域連携係一般職員</p>
○議題	
(1) 病院からの現況等報告	高取院長よりパワーポイントを用い説明
(2) 意見交換 荒井班長	<p>現状において、湯河原病院は地域との関係性も良好になってきていることも感じられ、休日当番医も以前はノータッチであったが、今は組み込まれていることなど、以前と比べると地域密着型の病院になってきているという感じがします。今後も地域密着型で運営していただきたいです。</p> <p>湯河原地区の防災について、この地域で拠点となるのは湯河原病院だと思しますので、町を巻き込んで防災への対応を実行していただきたいと思えます。</p>
岩田内科診療部長	救護所の立ち上げは市の職員が行うがそこに参集することになっていますが、湯河原町を含む3町は全く決まっていないため、これからの課題であると認識しております。

<p>岩本消防署長</p>	<p>おそらく3町は発災当初は援助を受けられないであろうというのが町と医師会の共通認識であると思われます。</p> <p>救急件数は年々増加しており、過去最高の救急件数を更新中となっております。</p> <p>熱海の泉地区、真鶴町も救急を担当しており、湯河原町には4台救急車があるが、全部出動となってしまうことも発生しております。</p> <p>救急搬送において湯河原病院で受入が不可であると小田原まで行かなくてはならないので、1~2時間帰ってこられなくなるので受け入れていただけるとありがたいと思います。</p>
<p>松野保健センター 所長</p>	<p>コロナワクチンの集団接種を令和3年5月7日より町民体育館で行ってきて、令和5年度からはこの防災コミュニティセンターで実施し、12月23日で集団接種を終了することとなり、町民体育館で令和5年1月末までで284回実施、令和5年度は75回の実施となります。</p> <p>湯河原病院には医師、看護師、応急対応とご協力いただき、ありがとうございました。</p>
<p>大野介護課長</p>	<p>高齢化については、直近では確か真鶴において高齢化が一番進んでいるとのことですが、その次に湯河原、静岡でも熱海ということで伊豆半島全般において高齢化率が高い地域となっております。</p> <p>85歳以上の方は引き続き令和17年度まで増加する見込みであり、要介護認定は増えていく見込みとなっておりますので、湯河原病院においては医療面でのご協力や患者さん対応などを今後ともよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>路線バスの廃止の話もあがっているため、病院の送迎バスの活用なども検討いただけると助かります。</p>
<p>薄田事務長補佐</p>	<p>旧病院よりアクセス的に改善されたので、全体的にも利用者数は減少しており、現在の大型のマイクロバスでなくてもよい状況となっております。</p> <p>今のところは送迎バスを廃止する予定はないが、車両の小型化を検討しているような状況であり、大変申し訳ありませんが、路線の拡大などは難しいと思われます。</p>

<p>秋山患者代表</p>	<p>平塚にある学校だが、社会福祉士と介護福祉士を目指す学生が以前は多かったが、現在では介護科は 10 人くらいで、社会福祉科は 30 人くらいの学生で、社会福祉科で授業等についていけない学生が 10 人くらいとなっているので、この分野における人材確保も今後の課題となってくると思われます。</p> <p>高取院長より面会制限の緩和について話があったが、患者及び患者家族の立場からは、コロナ禍で面会ができなかったことで、湯河原病院ではメッセージシートを書いてお渡しできたのがうれしかったです。</p> <p>面会できないのは患者の家族からしたら不安もあり、情報が一方通行であったが、メッセージングの方より患者の様子を聞くことができ良かったです。</p>
<p>松坂室長</p>	<p>看護の立場からも面会制限については、病棟内でも患者の様子をどのように伝えるか議論してきました。</p> <p>感染対策をしっかりと考えたうえで、今後なるべく患者さんやその家族の意向に少しでも応えられるような方策を検討させていただきたいと思います。</p>
<p>○閉会</p> <p>井澤事務長</p>	<p>本日は、貴重なお時間をいただき有難うございました。頂戴しましたご意見を今後の参考にさせていただき、地域の皆様と協力して、地域の実情に応じた病院運営を目指したいと考えております。</p> <p>今後ともよろしく願い申し上げます。</p>